

## 北部ケニア干ばつレジリエンス通信（2012年6月号）



District Steering Group会議の様子（マルバット）  
DC(正面手前)や各種NGOも参加して協議が行われた



Galgalu平原の既存Water Pan（Turbi市近郊）  
家畜水飲み場兼堆砂除去作業の様子：堆砂除去作業は効率が悪く継続的なO&M作業の為に施設改善が求められる



家畜移動ルート及び牧草地フィールド調査（Arapal村）  
調査の結果、マルバット県Arapal村周辺はレンディシ族の家畜の乾期及び干ばつ時の避難先牧草地である事が確認された



現地再委託District Profile調査風景（Oltorot村）  
再委託業者が行う質問票調査に同行し、調査指導及び管理を実施した。赤いファイルを持つ者が質問票調査員



CMDRR導入セミナー（ナイロビ市）  
CMDRR講師(Cordaid)による初心者講習をJICAケニア事務所にて実施した。参加者は本事業関係者の他、北部開発省、水管理局(WRMA)、JICAスタッフ、JOCV等



Ireletにおける先行事例視察調査（マルバット県Irelet村）  
VSF-ドイトの協力を得て、コミュニティ主導型防災事業の成功事例として有名なIreletコミュニティのPFS事業等を視察：写真はPSFメバとの協議風景。ケニア事務所花井次長・深井担当も参加